

じゃ のぼれん蛇一



電柱用 防蛇シート



電柱に登り停電事故を引き起こす蛇の侵入を防ぎます
シンプルな構造なので電柱に簡単に取付できます
様々なサイズ・形状の電柱に対応しています



株式会社 **サンキョウ**

※防止効果については (財)日本蛇放学術研究所において検証されています



株式会社 **サンキョウ**

<https://www.sankyo111.co.jp/>

本社

名古屋市昭和区紅梅町1丁目17番地
TEL.052-852-3323 FAX.052-852-1717

東京支店

東京都中野区弥生町4-34-8 東京インテックビル2B
TEL.03-6454-1971 FAX.03-6454-1972



日本に生息する蛇について

日本の陸地に生息する蛇の種類は36種類が確認されています、その中で28種類は本土（北海道・本州・四国・九州）以外の小笠原諸島・対馬・トカラ列島・奄美大島・沖縄列島などに生息しており、本土に生息する蛇は8種類のみです。この中で、唯一電柱に昇って電線に触れて感電死し停電を起こす蛇がアオダイショウです。

では、なぜアオダイショウだけが電柱に登ることが可能なのでしょうか？

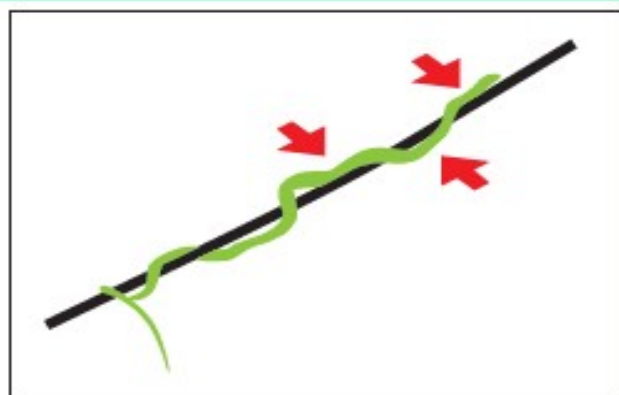
アオダイショウの特徴



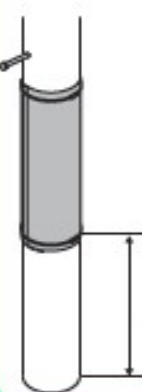
アオダイショウはナミヘビ科 ナメラ属のヘビ。無毒。全長100-200cm。胴の直径は5cmほどになる。日本本土では最大のヘビで、餌であるネズミの生息環境に対応し人家周辺でよく見られる。昼行性で、ネズミを追って家屋内に侵入することもある。樹上性の傾向が強いが、地表での活動も多い、樹上に上るときには枝や幹に巻きついて登っていくのではなく、腹盤の両端には強い側稜（キール）があり、これを幹や枝に引っかけることでそのまま垂直に登ることができ、樹上を移動する、壁をよじ登ることも可能であり、これは他の7種類の蛇には無い特徴と言えます。

アオダイショウが電柱に登ってしまうメカニズム

アオダイショウは枝や幹に巻き付いて登るのではなく、少しの突起を足がかりとしてキールでその突起を左右から押さえ込みながら登ることが可能です、その突起は5mmもあれば十分であると言われています、また成長した個体では200cmに達するため、地表近くに足がかりが無くとも地表から60cmほどの高さの突起物があれば、そこまで鎌首を持ち上げて、それを足がかりとしてさらに上に登ることができます。

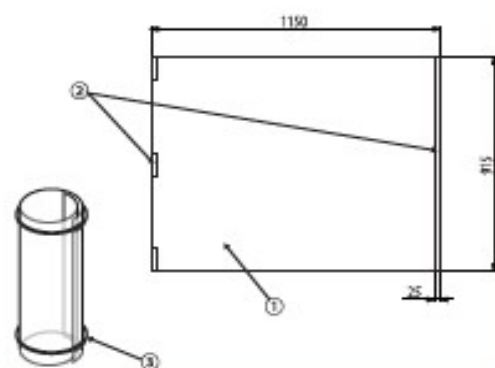


のぼれん蛇ーは



摩擦抵抗が少なく、十分な強度と耐久性・耐候性を持つ極薄0.18mmのシートを地上から100cm以上の所に接地することによってアオダイショウの侵入を完全に防御することが可能です、性能については、平成26年2月25日（財）日本蛇族学術研究所において蛇の登坂防止効果の検証を行い実証済みです。

必ず地上から100cm以上を確保してください。



	品名	材質	備考
①	シート	カーボガラスフィルムC110C	厚み:0.18mm 色調:透明
②	両面テープ	住友スリーエムY4914	巾25mm
③	ステンレスバンド	SFT-C112	